

平成27年度 全国技術発表会

【日 時】 平成27年11月26日(木) 13:00~16:20

【発表内容】

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| 1) 三井アウトレットパーク滋賀竜王における造成工事の施工事例 . . . | 関西支店 |
| 2) 橋梁レベリング層用混合物 (FB13) の施工について . . . | 中部支店 |
| 3) EPS工法における浮力抑制対策 | 関東支店 |
| 4) バイオ浄化を用いた油含有土壌の浄化 | 中四国支店 |
| 5) 高針入度Asを用いた再生合材について | 技術研究所 |
| 6) 太陽光発電の防草シートの適用性 | 技術研究所 |
| 7) 空港工事における工程管理 | 九州支店 |
| 8) 創意工夫による工程短縮の施工例 | 東北支店 |

以 上



環境・震災対応技術を加速

首都圏拠点拡張 基盤強化へ

三井住建道路



松井社長

三井住建道路の松井隆幸社長は、遮熱性舗装を含む「環境配慮」と無電柱化に代表される「震災対応」をキーワードに技

術開発を加速させていくことを強調した。26日に東京都内で開かれた全国技術発表会の場で、日刊建設産業新聞社の取材に答えた。

今後の技術開発について、松井社長が遮熱性舗装を含む環境配慮技術をあげた理由として、夏場に開催される20年五輪・

の大規模災害を教訓に電線類の地中化を重要な要素とし、「災害時の道路閉塞を解消するだけでなく、(電柱を除却した)歩行者や自転車、安全・快適に道路を利用できる空間が確保できる。当社として尽力していくべきだ」とも答えた。また、取材に同席した澤誠之助会長も「安全で簡易な無電柱化技術を加速させていく。社員に対しても発信していくつもりだ」と

こつした技術開発を加速する際の基盤づくりとして、松井社長は「全国26か所ある合材工場と営業所の基盤強化に努める。特に、首都圏にある5か所の工場と6か所の営業所を対象に拡張を進めたい」と意欲を燃やした。

同日開催された技術発表会では、技術研究所や関東、関西など各支店の社員が集まり、東日本大震災により着手が遅れた国道45号線の交通安全対策工事で取り組みがされた工期短縮事例など計8編が報告された。

社会貢献を具現化

三井住建道路

三井住建道路は11月26日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷で、2015年度の全国技術発表会を開いた。約50人が出席し、8件が発表された。発表内容はテレビ会議システムで各支店にも配信された。

冒頭、あいさつに立った澤誠之助代表取締役会長は、「先日、岩手県宮古市で復興事業に従事して

いる当社の現場を訪問してきた。当社が施工した道路を通ったが、すべて大変良い仕上がりで、まさに経営理念にある、『高い技術力により生活・産業基盤の整備事業を通じ社会に貢献する』ことを具現化している。発表された技術を水平展開し、広く社内でも共有してもらいたい」と述べた。写真。



南館学技術研究所長による会議の概要説明後、技術発表に移った。

三井住建道路が 全国技術発表会

森田美氏特別講演も

三井住建道路は26日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷で15年度「全国技術発表会」を開いた。道路・舗装技術に関する技術的な成果を発表し、情報の共有、技術力の向上を図ることを目的に毎年実施している。

松井隆幸社長をはじめ役員が多数出席。インタ



ーネット中継を利用して全国の支店関係者も参加した。

冒頭、澤誠之助代表取締役会長は「(発表会は)技術の研さんを社内にも水平展開する場であるとともに、プレゼンテーション能力を磨く機会でもあり、聴講者は今後、積極

的に発表する側に立ってほしい。個々のレベルアップが企業価値の向上につながる。多くの社員が参加し、有意義な発表会にしてほしい」とあいさつした。写真。

発表会では、橋梁レベルリング層用混合物の施工や高針入度アスファルトを用いた再生合材など8件の技術発表が行われたほか、評論家の森田美氏が、「日本の今後を考えると」と題して特別講演した。